

おけがわほんぶらす
OKEGAWA hon プラス+
子どもつうしん



桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」

エーアイ なん か にゅうもんしよ
AIって何だろう？が“わかる”に変わる入門書

「10歳からの図解でわかるAI」
木脇 太一・監修
山口 由美・著
出版社：メイツ出版
ISBN：978-4-7804-2816-2



みんなはAIについてどれくらい知っているかな。AIはたくさん
さんのデータから考えたりパターンを見つけたりするのが得意
だけれど、人の気持ちを深く理解したり、データにないこと
を想像したりするのはまだ苦手なんだ。この本では、AIの
しくみや使われている場面、未来の世界でどんなふうに関立
つのかを、図やイラストでわかりやすく紹介している。AIは
これからも進化していくと言われていて、正しい知識を持
つことが大切。この本を読めば、AIと上手につきあうヒント
がきっと見つかるはずだ。

おけがわとしょかん
桶川図書館に蔵書があります

AI・ロボット特集

AIという言葉聞いたことがありますか。AIは、人の知恵をまねして考えたり学んだりするコンピューターのおかげです。そして、動いたり話したりして生活を手伝えるロボットも、AIといっしょに進化しています。とても便利ですが、まちがうこともあり、人の気持ちを本当にわかるわけではありません。だからこそ、「すごいな」と思う気持ちと「ほんとうかな」と考える心の両方が大切です。今回の「子どもつうしん」では、進歩を続けるAIとロボットの世界を紹介します。



中央図書館スタッフが選んだオススメ本 特集テーマ「AI、ロボットの本」

- 人間にしかできない仕事って？これから生まれる新しい仕事も考えてみよう！
『**子ども手に職図鑑 AIに取って代われない仕事100**』
一モノの職業が一目でわかるマップ付！
子供の科学と手に職図鑑編集委員会・編
出版社：誠文堂新光社 ISBN：978-4-416-62009-0
- 生成AIを活用したいリンクンが、生成AIのアイちゃんとお話ししながら勉強していくよ
『**10歳からの生成AIとの付き合い方**』
田中 博之、樋口 悠、宮田 好展、佐藤 典子・著
出版社：日本能率協会マネジメントセンター ISBN：978-4-8005-9360-3
- おじいちゃんタイプの人型ロボットと僕の物語
『**ぼくの師匠はスーパーロボット**』南田 幹太・作
三木 謙次・絵
出版社：佼成出版社 ISBN：978-4-333-02846-7
- 自分の代わりにいろいろやってくれるロボットがいたら、みんなの生活はどう変わるかな
『**分身ロボットとの付き合い方**』
江間 有沙・著 出版社：岩波書店 ISBN：978-4-00-027260-5
- ロボットにぼくのニセモノになってもらおう！なれるかな？
『**ぼくのニセモノをつくるには**』
ヨシタケシンスケ・作 出版社：フロンズ新社 ISBN：978-4-89309-591-6
- 虫型ロボットに乗りこんで、虫の世界を大冒険！
『**虫ロボのぼうけん[01] カフトムシに土下座!?**』
吉野 万理子・作 安部 蘭子・絵 出版社：理論社 ISBN：978-4-652-20060-5
- ペットのこころをロボットにうつしたらどうなる!?
『**ぼくのネコがロボットになった**』佐藤 まどか・作
木村 いこ・絵
出版社：講談社 ISBN：978-4-06-195788-6

自分の分身ができたらどうなる？

『AIロボット、ひと月貸します!』
木内 南緒・作 丸山 ゆき・絵 出版社：岩崎書店 978-4-265-07266-8



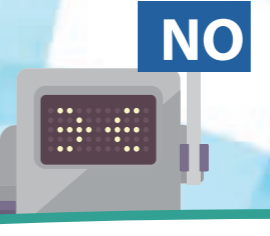
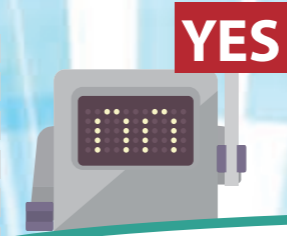
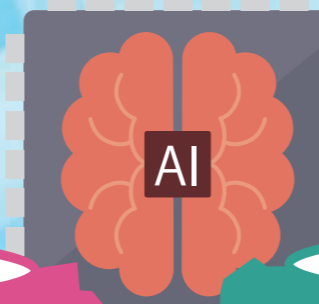
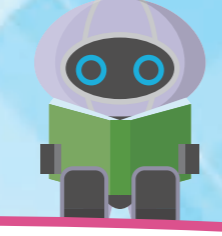
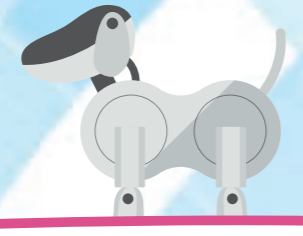
未来科学研究所の10万人目の来場者になった栄太は、自分
そっくりのAIロボットがくれる即席キットをひと月限定で
借りることになる。「3分間待つのだぞ」で出来上がったロボッ
トに、栄太は自分の名前をもじって「エイト」と名づける。栄太
はこれ幸いと、学校の宿題やサッカーの練習など、自分のイヤ
なことをエイトに押しつけてしまうが——。迫る別れの日へ向
けて、栄太の気持ちがどう変わっていくのかが読みどころ。ふ
たりの“こころ”の交流があたたかい、近未来の物語です。



おけがわマイン 3F
〒363-0022 埼玉県桶川市若宮1-5-2
OKEGAWA hon プラス+
☎048-786-6353 桶川市立中央図書館
発行者：OKEGAWA hon プラス+運営協議会（桶川市・株式会社新都ライフホールディングス・丸善雄松堂株式会社）
〒202603



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



つくって動かして、仲間と挑むロボコン物語！

『チャレンジ！ロボットコンテスト』

あさだりん・作 ひなかわ 雑川 まつり・絵 出版社：金の星社 ISBN：978-4-323-07589-1



ちゅうおうとしょ かん ぞうしよ
・中央図書館に蔵書があります

ゲームが大好きな快は、遊びすぎてお母さんにゲーム機を取り上げられてしまう。ゲームが生活に役立つことを証明して取り返そうと、ロボットコンテスト《ロボコン》に挑戦することを決めるが――。もくじには「どうやってとりもどす？」「どうやって動く？」など、プログラミングの考え方そのものの言葉が並び、読む前からワクワクする。チームを組む真斗や、幼なじみでサッカー少女の灯里とのやり取りも楽しい。ロボット作りの試行錯誤や大会の熱気がいきいきと伝わり、快たちの挑戦に自然と引きこまれる一冊です。

AIの未来を子どもたちの言葉で考える一冊

『おはなしサイエンス AI(人工知能) ロボットは泣くのか？』

佐藤 まどか・作
酒井 以・絵
出版社：講談社
ISBN：978-4-06-530548-5



ちゅうおうとしょ かん ぞうしよ
・中央図書館に蔵書があります

6年2組では毎週ディベートゲームをしている。今回のテーマは「AIは必要か？」。AIをそなえたロボットのピコと暮らす新は肯定側に選ばれ、否定側の瑛人たちと対決することになる。瑛人には反対する確かな理由があり、説得力ある発言で攻めてくる――。AIは人の生活を便利にする一方、仕事を奪う心配もあると言われている。この作品はそうした問題を子どもたちの言葉で描き、身近に考えさせてくれる。みんなも自分のこととして考えてみよう。



ロボットがつなく、ぎこちない3人のやさしい友情

『ロボットのたまごをひろったら』

奈雅月 ありす・作 さかい さね 酒井 以・絵 出版社：ポプラ社 ISBN：978-4-591-18144-7



おけがわ としよ かん ぞうしよ
桶川図書館に蔵書があります

友だちをつくることすらムダだと思っている効率重視の巧は、2人のクラスメイトが拾ったロボットをいっしょに育てることになる。手間ばかりかかる赤ちゃんロボットは、3人に見守られながら少しずつ知能をつけていくが、そこへ謎の男たちが現れて――。ロボットの成長とともに、考え方のちがう3人が次第に気持ちを通わせていく姿が胸に残る。ぎこちない関係が少しずつ変わっていく過程があたたかく、読み終わるころにはロボットも3人も、どこか身近に感じられる物語です。

ロボットの“いま”と“未来”がよくわかる一冊

『歴史からしくみ、人工知能との関係までよくわかる 未来につながる！ロボットの技術』

ロボット学会・監修
出版社：誠文堂新光社
ISBN：978-4-416-52346-9



ロボットの歴史やしくみ、AI(人工知能)との関係について、豊富なイラストや写真でわかりやすく紹介している本。まず、ロボットたちが工場や病院、家の中など、生活のあちこちですでに働いていることに思わず驚かされる。さらに、未来の社会を支える技術や研究も取り上げられており、「未来の暮らし」がどう変わっていくのかを考える手がかりにもなる。ロボットとともに生きる時代を理解するための知識がしっかり身につく、明るい未来を思い描くきっかけになる一冊です。